

取扱説明書

φ70エアキャップセット

VAC70PR



この説明書には、重要な警告や注意事項が記載されています。
本機を使用される前に、必ずよく読んでください。
この説明書は、製品を廃棄するまでは、必ずお手元に保管し、
紛失・汚損した場合は、販売店または当社までご請求ください。

はじめに

このたびは、当社製品エアキャップ〈VAC70PR〉をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品を常に最適な状態でお使いいただくために、ご使用される前に、この取扱説明書を必ずよくお読みください。

特に仕様に定められた諸項目を十分ご理解され、その正しい使用方法に従った使い方をさせていただきますようお願い申し上げます。

この製品は、高速回転霧化静電自動ガン サンベルエコプレミアム〈ESA400〉に取り付けて使用します。

なお、ご不明な点がございましたら「型式」「製造番号」をご確認の上、当社の営業担当または裏表紙の連絡先にお問い合わせください。



この取扱説明書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

目次

1	安全に正しくご使用いただくために…………… 1
2	全体構成…………… 2
3	着脱方法…………… 5
4	専用工具…………… 13
5	処理記録…………… 14
6	保証書…………… 15

本取扱説明書の内容を良くご理解頂き、必ず取扱方法を遵守してください。

この取扱説明に拠らないで使用すると、**人体の傷害や器物の損壊**を招くおそれがあります。

本項に示す安全対策は、必要最小限のものであり、これ以外の対策が不必要だということではありません。法律や条例で定められている事項、それぞれの企業や事業所で規則・規程として守るべき事項などは、当然それに従わなければなりません。

以下に述べる安全についての注意事項は、当社製品のご使用に際し最小限の基本的な安全対策と考えてください。

●安全に関する危険レベルを次の2段階に区分して表示してあります。



警告

死亡または重大な傷害を招く可能性のある危険



注意

軽傷・中程度の傷害を負うか、物理的損壊のみを招く可能性のある危険

●その他の重要事項は、次のように表示してあります。

注記

機器の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容

なお、国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、またそれぞれの企業や事業部で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

警告

- 塗装機の取り扱いに関しては、使用する塗装機の取扱説明書記載の内容を遵守してください。
- 塗装機械周辺の有機溶剤ガスを多量に吸い込むと、神経麻痺などの障害を起こします。
換気を良くして作業してください。
- 身体に静電気を帯電したままノズルを取扱うと、静電気放電により塗装機械周辺の有機溶剤などの引火性ガスに着火する危険性があります。接地物体を強く握るなどして、身体に帯電した静電気を完全に逃してから、作業してください。

- 塗装機先端に取付、塗料を回転による遠心力で霧化および高電圧を塗料に印加する働きを持つベルカップと独立制御された2系統のシェープエア噴出によってスプレーパターンを形成しベルカップで微粒化された塗料粒子を効率よく被塗物に塗着させるバリアブルノズルで構成された塗装を行う周辺機器です。
- ベルカップはアウト部とインナ部に分割可能な2ピース構造を採用し、ベルカップ内部洗浄を容易に行えます。
- ベルカップ外面自動洗浄を行うベルカップ外洗浄ノズルを採用しています。

表 2-1 構成リスト

ベルカップ・エアキャップセット		エアキャップセット		ベルカップ				
型式	品番	品番	仕様	径	仕様	センタープラグ (c)	前方排気 (Ex)	品番
VAC70PR	15GG	15G6	標準吐出	φ70	標準吐出タイプ	○	○	15G5
	15GG-1				長孔タイプ			15G5-1

標準吐出タイプ (15G5)



長孔タイプ (15G5-1)



表 2-2 適応パターン幅

型式	パターン幅(mm)				
	100	200	300	400	500
VAC70PR	■				

表 2-3 ベル本体オプション品表

名称	用途／構成	品番
エアキャップツールセット	分解用ツールセット	35FC

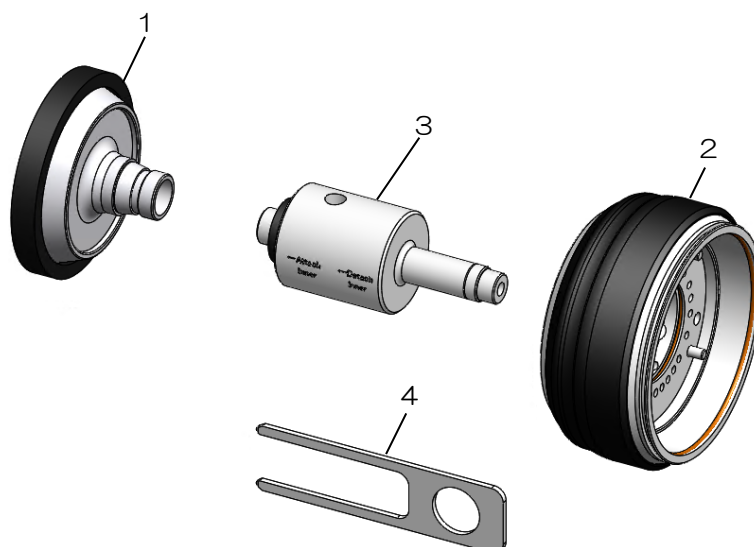
※エアキャップツールセットの詳細構成は P.13 を参照願います。

φ70ベルカップ・エアキャップセット

15GG

φ70ベルカップ・エアキャップセット(長孔タイプ)

15GG-1

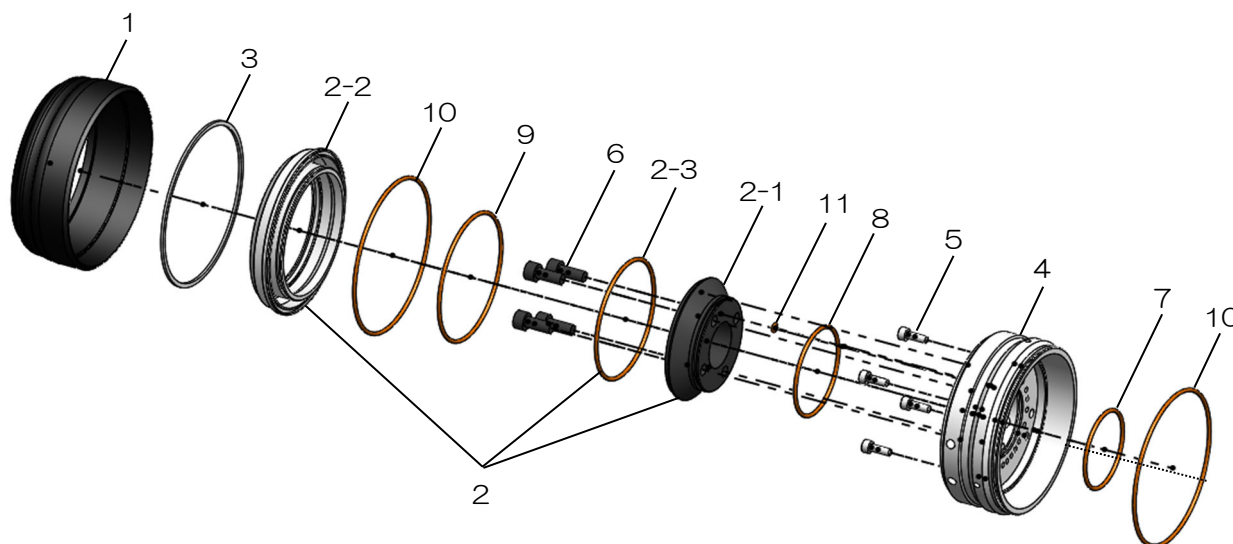


番号	部品番号	品名	個数	備考
1	15G5	φ70ベルカップ	1	長孔タイプ
	15G5-1	φ70ベルカップ		
2	15G6	φ70エアキャップセット	1	

番号	部品番号	品名	個数	備考
3	35F7-004	インナ着脱治具	1	
4	35F7-001	板スパナ	1	

エアキャップセット

15G6



番号	部品番号	品名	個数	備考
1	15G6-003	キャップ	1	
2	15G6-001	ノズル	1set	
2-1	15G6-001-1	インナ	1	
2-2	15G6-001-2	エアノズル	1	
2-3	130-9065	Oリング	1	S65
3	15G6-004	リング	1	
4	15G6-002	パッフル	1	

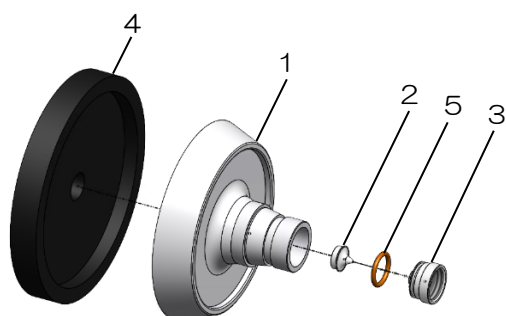
番号	部品番号	品名	個数	備考
5	03-70412	六角穴付ボルト	4	M4×12L
6	364-0038	六角穴付ボルト	4	M6×15L
7	130-9042	Oリング	1	S42
8	130-9048	Oリング	1	S48
9	130-9070	Oリング	1	S70
10	130-9085	Oリング	2	S85
11	130-9003	Oリング	1	S3

φ 70ベルカップ

15G5

φ 70ベルカップ(長孔タイプ)

15G5-1



番号	部品番号	品 名	個数	備考
1	15G5-001	アウタ	1	
	15G5-101	カップ		長孔タイプ
2	15G3-002	センタープラグ	1	

番号	部品番号	品 名	個数	備考
3	15G3-003	インナ	1	
4	157C-012	パッド	1	
5	130-9010	Oリング	1	S10

注意

ベルカップを取り扱う際は、アウタまたはカップのエッジ部が鋭利なため、切傷を防ぐために、必ず付属のパッドを装着してください。

3

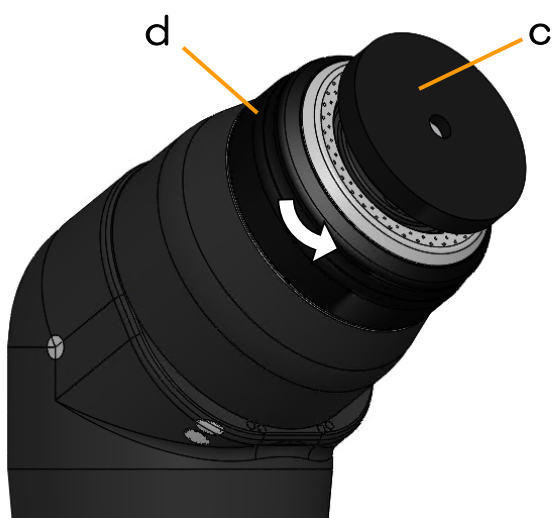
着脱方法

※着脱に使用する専用工具は、「4 専用工具」および別紙サンベルエコプレミアム<ESA400>取扱説明書「8.2 オプション品」を参照してください。

※この章では、φ70 エアキャップセット（15G6）とφ40 ベルカップ（15G5）の組み合わせの場合の着脱方法について説明しています。φ70 ベルカップ（長孔タイプ）（15G5-1）との組み合わせの場合は、『アウタ（15G5-001）』は『カップ（15G5-101）』になります。

3.1 φ70 エアキャップセット取り外し

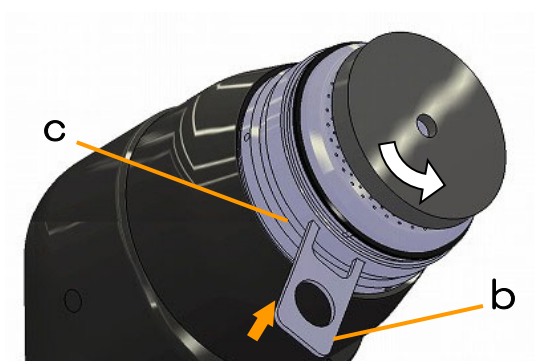
φ70 エアキャップセット着脱の際は
ベアリングエアを供給した状態で、
シャフトの回転が完全に停止していることを
確認して行ってください。
また、静電の高電圧発生器出力が OFF に
なっていることも確認してください。



(1) キャップ取り外し

アウタに付属工具のパッドを取り付け
キャップを取り外します。

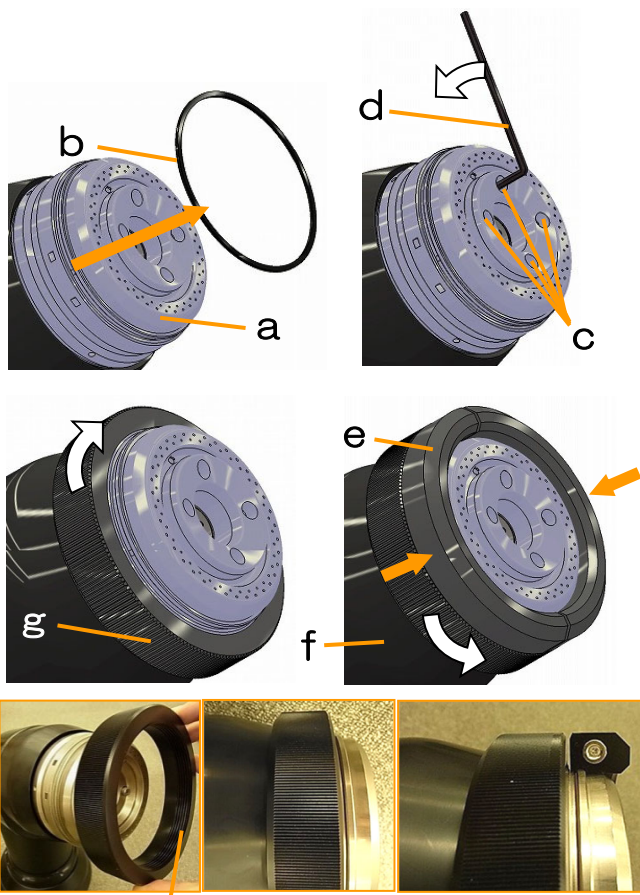
- a : φ70 エアキャップセット（15G6）
- b : アウタ（15G5-001）
- c : パッド（157C-012）
- d : キャップ（15G6-003）



(2) アウタ取り外し

付属工具の板スパナをバッフル側面工具孔
に差し込み、シャフトを固定しアウタを
取り外します。

- a : アウタ（15G5-001）
- b : 板スパナ（35F7-001）
- c : バッフル（15G6-002）



ネジ部

(3) ノズル取り外し

ノズルからリングを取り外し、六角穴付ボルト 4 本を空回りするまで六角棒レンチで緩めます。

- a：ノズル（15G6-001）
- b：リング（15G6-004）
- c：六角穴付ボルト（364-0038）
- d：六角棒レンチ（334-0050）

バッフル治具をネジ部が手前になるよう向きに注意し、ボディと接触するまでねじ込みます。ノズル治具の向きに注意し、両側より 2 つ取り付けます。

この際、2 つの治具間にて指を挟まないようご注意ください。

- e：バッフル治具（35F7-002）
- f：ボディ（1785-001）
- g：ノズル治具（35F7-003）

バッフル治具を緩めることで、ノズルが押し上げられ取り外せます。

(4) バッフル取り外し

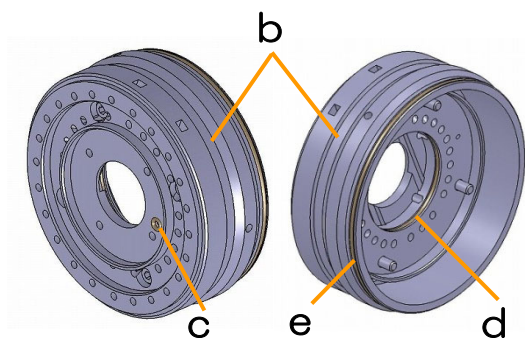
六角穴付ボルト 4 本を空回りするまで六角棒レンチで緩めて取り外します。

バッフル治具を締め込むことでバッフルが押し上げられ取り外せます。

- a：六角穴付ボルト（03-70412）
- b：六角棒レンチ（334-0030）
- c：バッフル治具（35F7-002）
- d：バッフル（15G6-002）

※六角棒レンチは、サンベルエコプレミアムオプション品です。

3.2 φ70エアキャップセット取り付け



(1) バッフルにOリング取り付け

バッフルにOリングが3つ付いていることを確認してください。

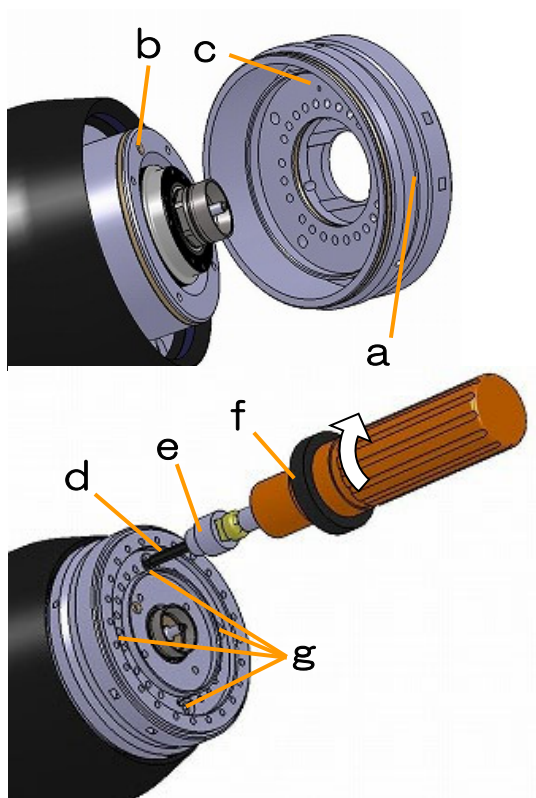
a: φ70 エアキャップセット (15G6)

b: バッフル (15G6-002)

c: Oリング (130-9003)

d: Oリング (130-9042)

e: Oリング (130-9085)



(2) バッフル組み付け

バッフルを左記図 a・b を基準とし挿入後
専用工具 d・e・f を用い 150cN・m で
六角穴付ボルト 4 本を締め付け固定してください。

a: バッフル (15G6-002)

b: ガン側Oリング (130-9003)

c: バッフルカップ外洗浄用孔

d: ヘキサゴンビットソケット (337-0036)

e: ソケットアダプタ (337-0033)

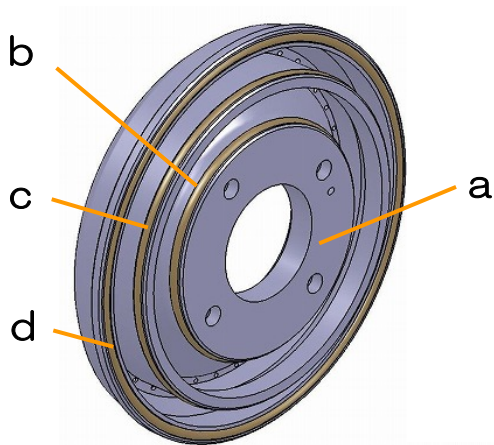
f: トルクドライバ (337-0028)

g: 六角穴付ボルト (03-70412)

※ヘキサゴンビットソケット、ソケットアダプタ、トルクドライバは、
サンベルエコプレミアムのオプション品です。

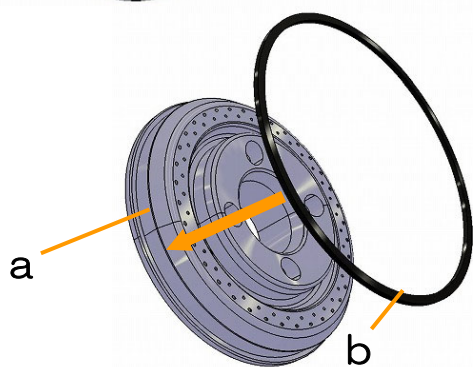
⚠ 注意

トルクドライバは締め付け専用です。取り外し時には使用しないでください。
破損する恐れがあります。



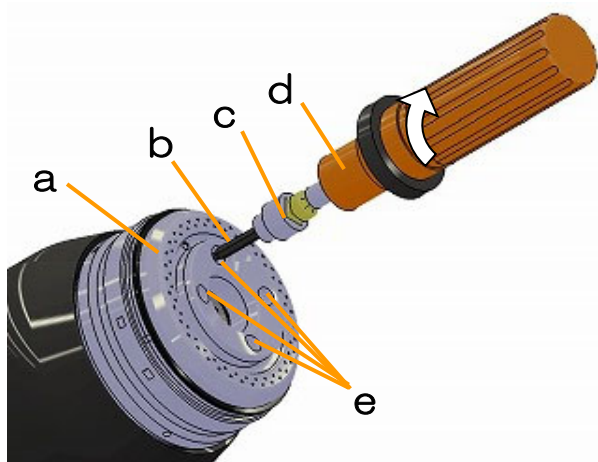
(3) ノズルにOリング取り付け
ノズルにOリングが3つ付いていることを確認してください。

- a : ノズル (15G6-001)
- b : Oリング (130-9048)
- c : Oリング (130-9070)
- d : Oリング (130-9085)



(4) ノズルにリング取り付け
ノズルにリングを取り付けてください。

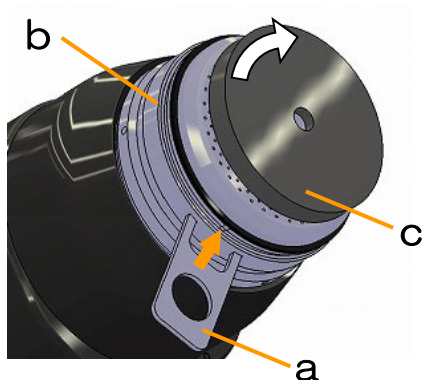
- a : ノズル (15G6-001)
- b : リング (15G6-004)



(5) ノズル組み付け
4つの穴の位置がズれていないことを確認してください。
専用工具 b・c・d を用い、六角穴付ボルト 4本を 100cN・m で締め付け固定してください。

- a : ノズル (15G6-001)
- b : ヘキサゴンビットソケット (337-0059)
- c : ソケットアダプタ (337-0033)
- d : トルクドライバ (337-0028)
- e : 六角穴付ボルト (364-0038)

※ソケットアダプタ、トルクドライバは、
サンベルエコプレミアムのオプション品です。

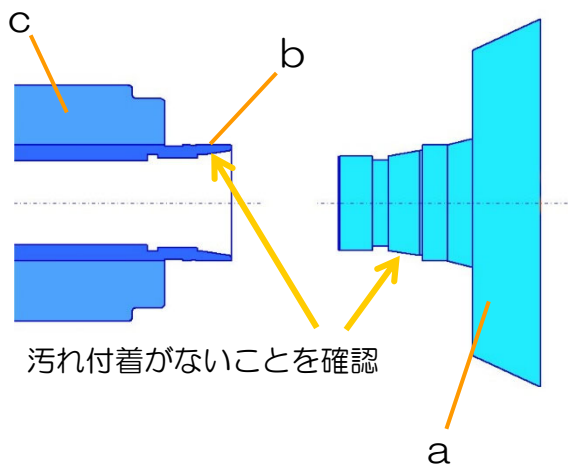


(6) アウタ取り付け
付属工具の板スパナをバッフル側面工具孔に差し込み、シャフトを固定します。
パッドを取り付けたアウタをねじ込んでください。

- a : 板スパナ (35F7-001)
- b : バッフル (15G6-002)
- c : パッド (157C-012)
- d : アウタ (15G5-001)

⚠ 注意

アウトタ着脱時にエアスピンドル・シャフトと衝突すると、アウトタネジ部が破損します。
これを取り付けると、エアスピンドルの破損につながります。

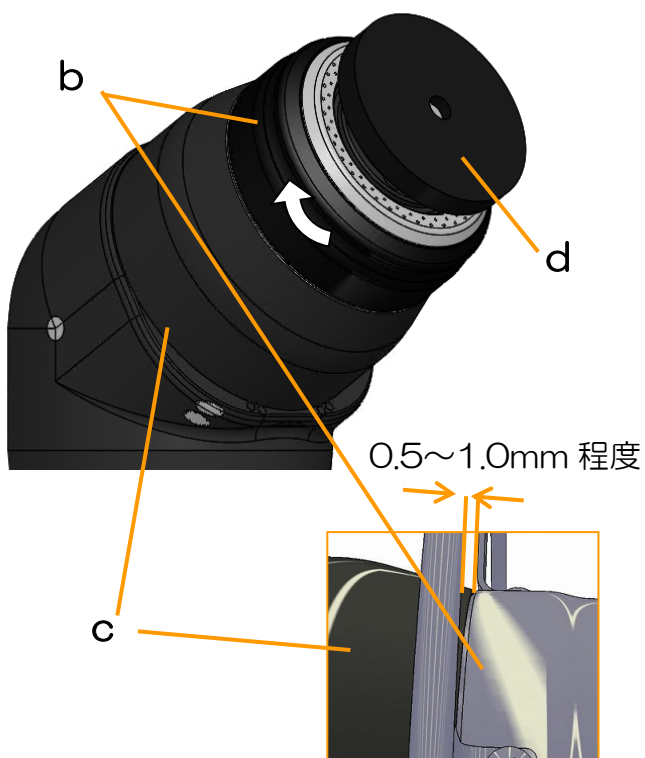


汚れ付着がないことを確認

⚠ 注意

テーパ部に塗料汚れが付着したままアウトタを装着して使用すると、回転バランスが崩れ、これをエアスピンドルで高速回転させるとエアスピンドルの破損につながります。

- a : アウト (15G5-001)
- b : エアスピンドル・シャフト
- c : エアスピンドル (321-0024)



0.5~1.0mm 程度

(7) キャップ取り付け

板スパナを取り外し、ネジ部に少量のワセリンを塗布の上、キャップをねじ込みます。

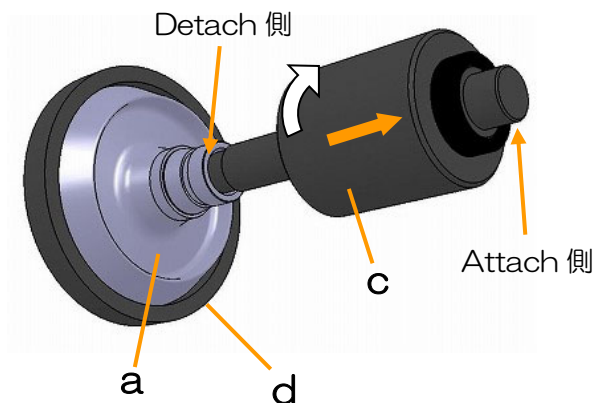
ボディ・キャップ間が左記図程度となるようねじ込んでください。

着脱が固い場合は、ゴム手袋などをご使用ください。

パッドを取り外し、取り付けは完了です。

- a : 板スパナ (35F7-001)
- b : キャップ (15G6-003)
- c : ボディ (1785-001)
- d : パッド (157C-012)

3.3 アウタ・インナ着脱方法



(1) インナの取り外し

付属工具のインナ着脱治具・Detach 側を使用しインナにねじ込み、引き抜いてください。

アウタ内を清掃する際は、柔らかい筆などを使用し洗浄してください。使用時以外はアウタを保護するため付属工具パッドを常に取り付けてください。

a : アウタ (15G5-001)

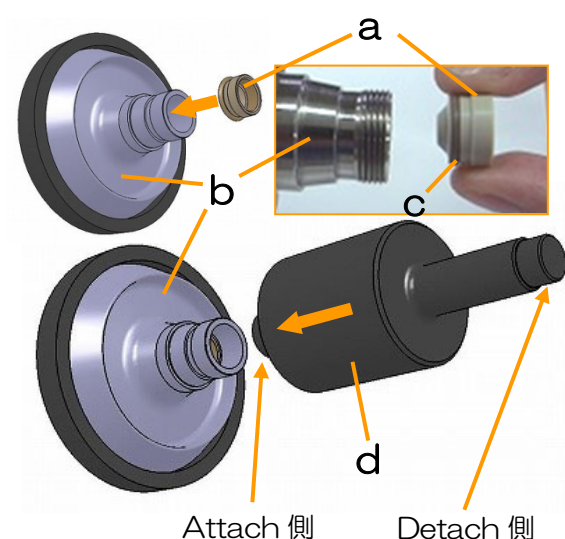
b : インナ (15G3-003)

c : インナ着脱治具 (35F7-004)

d : パッド (157C-012)

⚠ 注意

インナ着脱の際、塗料固着により固い場合があります。その際はアウタをシンナに漬け、潤滑性を持たせてください。無理に着脱するとインナの破損につながります。



(2) インナの取り付け

インナにOリングが1つ付いていることを確認し、アウタに挿入してください。

付属工具のインナ着脱治具・Attach 側を使用し位置規制がかかる所定の位置まで押し込んでください。この際、取り付けが固い場合はシンナを付着させ、潤滑性を持たせてください。

a : インナ (15G3-003)

b : アウタ (15G5-001)

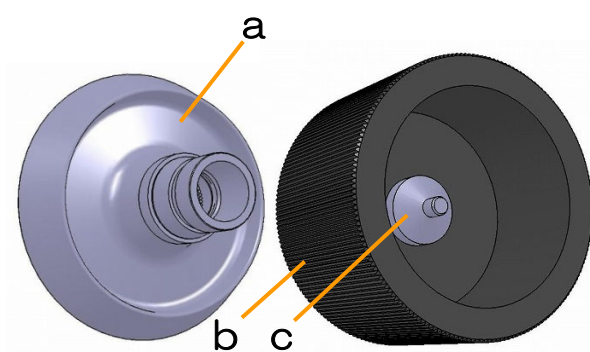
c : Oリング (130-9010)

d : インナ着脱治具 (35F7-004)

⚠ 注意

アウタを落下させたり物が衝突したときには、必ず新品に交換してください。アウタが変形したことにより回転バランスが崩れ、これをエアスピンドルで高速回転させるとエアスピンドルの破損につながります。また、インナが正しく装着されていないときも回転バランスが崩れます。エアスピンドルに異音が生じた際は、直ちに使用を止め確認してください。

3.4 アウタ・センタープラグ着脱方法



(1) 事前確認

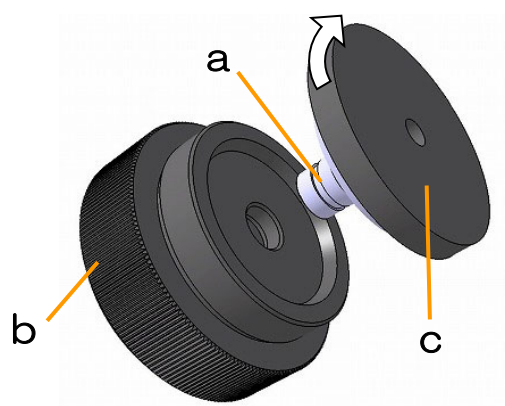
アウタ内からインナが取り外されていることを確認してください。

また、前ブロックにポンチが取り付けられていることを確認してください。

a : アウタ (15G5-001)

b : 前ブロック (35F7-005-2)

c : ポンチ (35F7-005-4)



(2) アウタを後ブロックに取り付け

後ブロックにアウタを軽くねじ込み、パッドを取り外してください。

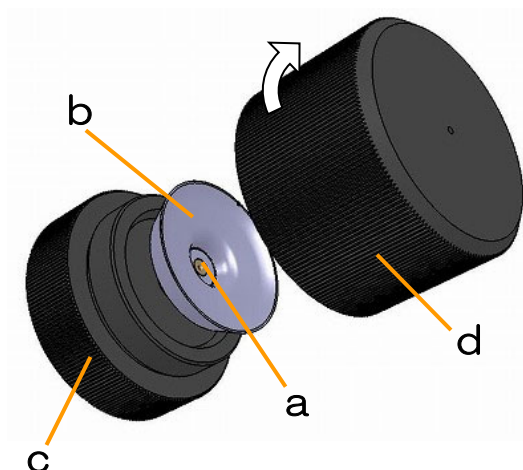
a : アウタ (15G5-001)

b : 後ブロック (35F7-005-1)

c : パッド (157C-012)

⚠ 注意

**アウタを強く締め込むと
後ブロックが破損します。**



(3) センタープラグ取り外し

アウタが装着された後ブロックに前ブロックをねじ込み取り付けます。

前後のブロックが接触するまで締め込むことでセンタープラグがアウタより取り外されます。

a : センタープラグ (15G3-002)

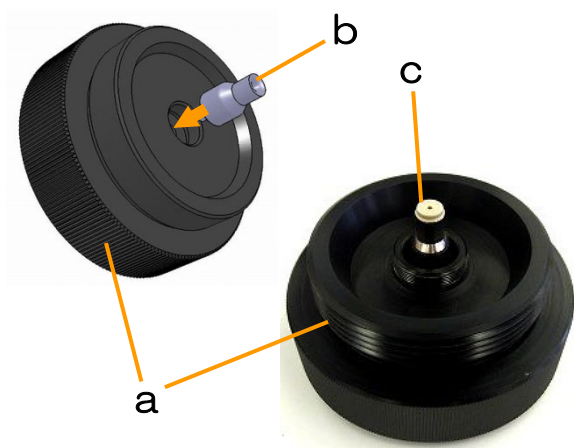
b : アウタ (15G5-001)

c : 後ブロック (35F7-005-1)

d : 前ブロック (35F7-005-2)

⚠ 注意

**前ブロックを取り付ける際は、
アウタと接触しないよう注意してください。
アウタが破損する恐れがあります。**



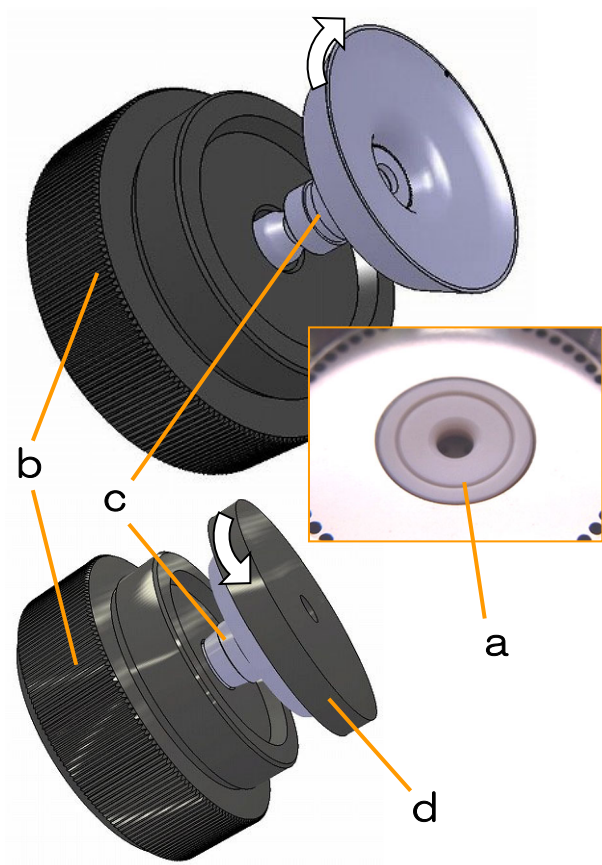
(4) センタープラグ取り付け準備

前ブロックにセンタープラグ圧入治具を差し込み、図のようにセンタープラグをセットしてください。

a：前ブロック（35F7-005-2）

b：センタープラグ圧入治具(35F7-005-3)

c：センタープラグ(15G3-002)



(5) センタープラグ取り付け

センタープラグがセットされた前ブロックにアウタをねじ込み取り付けます。

この際、アウタとセンタープラグ前面で段差が無くなるよう目視確認の上、ねじ込み量を調整してください。

アウタを取り外す際は付属工具パッドを装着してください。

a：センタープラグ（15G3-002）

b：前ブロック（35F7-005-2）

c：アウタ（15G5-001）

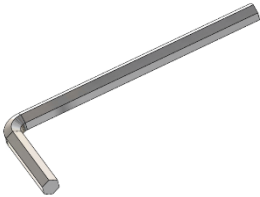
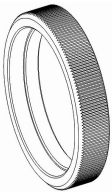
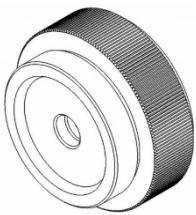
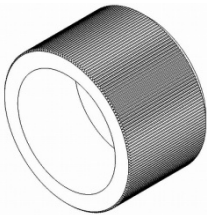
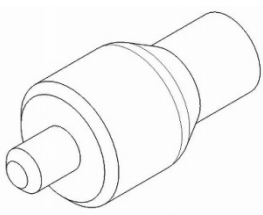
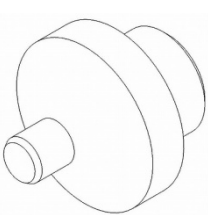
d：パッド（157C-012）

⚠ 注意

アウタを締め付ける際は、必ず前面を目視確認の上、締め付け量を調整してください。
無理に締め付けるとアウタが破損する恐れがあります。

エアキャップツールセット

35FC

ヘキサゴンビットソケット 品番：337-0059	六角棒レンチ 品番：334-0050	バッフル治具 品番：35F7-002	ノズル治具 品番：35F7-003
			
後ブロック 品番：35F7-005-1	前ブロック 品番：35F7-005-2	センタープラグ圧入治具 品番：35F7-005-3	ポンチ 品番：35F7-005-4
			

【保証内容について】

お買い上げ日から6か月、万が一故障が発生した場合、本保証書に記載の規定により無償修理いたします。

●保証規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に基づいて、お客様が正常な状態のもとでご使用になり、万一保証期間内に故障した場合は、販売店、または当社営業所に修理をご依頼ください。
当社で点検・調査した後、その故障が材質・製造上の欠陥であると判明した場合は、無償にて故障箇所の修理または取り替えをさせていただきます。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けることがあります。
2. 本製品の故障またはその使用によって生じた本製品以外に及ぼす損害については、当社はその責任を負わないものとします。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になります。
 - (1) 保証書のご提示がない場合。
 - (2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
 - (3) お客様による改造、修理に起因する故障および損傷。
 - (4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - (5) 本製品に接続している当社以外の機器および交換した消耗品に起因する故障および損傷。
 - (6) 消耗品の交換・修理。
 - (7) 純正部品以外の部品が使用されている場合。
4. ご不明な場合は、お買い上げの販売店または当社営業所にご相談下さい。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。

この保証書によってお客様の法律上の権利を制約するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は販売店、または当社営業所にお問い合わせください。

【MEMO】

【MEMO】

-
- 本機械を譲渡するときは、必ず機械に本書を添付して次の所有者に渡してください。
 - 本機械は、日本国内の法規に基づき製作されています。
- 本機械を日本国以外で使用するときは、その国の安全規格を遵守する必要があります。
-

令和 8年 9月14日 第4版

旭サナック株式会社

本社
愛知県尾張旭市旭前町新田洞 5050 番地 〒488-0852
TEL 0561-53-1213 FAX 0561-54-8847

URL : www.sunac.co.jp
E-mail : sunac_c@sunac.co.jp



営業所一覧

令和 8年 9月14日 第4版